

# 基本施策評価シート

基本施策最終評価

B

基本施策通し番号 15

基本施策 幹線道路網の整備

構成施策

施策番号	施策名	施策最終評価
施策1	国道158号の整備促進	B
施策2	国道157号大野バイパスの整備充実	A
施策3	国道476号や主要地方道などの整備促進	B

## 成果指標

指標	内容	平成32年度目標	平成29年度末実績	単位	平成29年度の成果の検証
国道158号境寺・計石間の供用開始	境寺・計石間の全線供用開始	供用開始	詳細設計、用地取得(一部)	-	縫原・大宮間における橋梁・道路詳細設計が進められた。用地については、縫原地区と大宮地区で用地取得が進められ、仮設工事に着手できた。
西部アクセス道路の供用開始	西部アクセス道路の供用開始	供用開始	橋梁工事等の実施	-	橋梁工事等事業の進捗が図られ、平成30年供用開始の見込みとなった。
都市計画道路中保中野大橋線の整備	中挾交差点から国道157号までの県道整備事業着手	事業化	予備設計着手	-	道路予備設計に着手した。

## 後期基本計画策定時の「現状」と「課題」

現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道158号は大野市と福井市を結ぶ通勤や物流、防災、救急救命上重要な道路であり、朝夕の渋滞緩和や安全・安心の確保のため、一日も早い整備が求められている。</li> <li>・国道157号大野バイパスは、大野インターチェンジから市街地への交通を分散導入させるとともにスムーズに中心市街へ誘導するための重要道路であり、中部縦貫自動車道永平寺大野道路の平成28年度の供用開始に合わせた整備が必要である。</li> <li>・国道476号西部アクセス道路は、福井方面からの交通を市街地に誘導するために重要な道路であり、早期の整備が必要である。</li> <li>・(都)中保中野大橋線については、事業未着手であり、早期の事業化が必要である。</li> </ul>
課 題	国道158号境寺・計石間の日も早い整備、国道157号大野バイパスの中部縦貫自動車道永平寺大野道路の平成28年度の供用開始に合わせた整備、国道476号の早期の整備が必要である。

## 社会情勢・市民ニーズの変化

(都)中保中野大橋線については、接続予定の国道157号大野バイパスも完成したことから、地区住民等から事業化の目途に関する問い合わせがあるなど、関心度が高まっている。

## 現在の「現状」と「課題」

現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道158号は大野市と福井市を結ぶ通勤や物流、防災、救急救命上重要な道路であり、朝夕の渋滞緩和や安全・安心の確保のため、一日も早い整備が求められている。</li> <li>・国道157号大野バイパスは、未整備区間であった中保・吉間約1.1キロメートルが平成28年9月に完成し、国道157号バイパス全長4.6キロメートルが全線供用開始となっている。(都)中保中野大橋線は、事業化に至っていない。</li> </ul>
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道158号境寺・計石間の速やかな工事着手</li> <li>・国道476号の福井国体開催までの供用開始</li> </ul>

## 基本施策の「成果」

成 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道158号境寺・計石間の用地取得が始まり、一部仮設工事にも着手された。</li> <li>・国道476号西部アクセス道路についても、橋梁等の工事が進み、8月供用開始に向け進捗が図れた。</li> </ul>
-----	--

## 改善点

- ・国道158号境寺・計石間の全線供用開始時期について、県は平成35年度を目標としており、遅れが出ないように今後も福井市と連携して、県に早期完成を働きかけていく。
- ・中保中野大橋線は平成31年度の事業化に向け、県に強く働きかけていく。